

## 第2回環境技術実証に関する国際フォーラム・議事次第（仮訳）

環境調和型技術一性能実証の国際的統合（統一）への取り組み

於 カナダ、バンクーバー 2006年3月28日

### 08:30 開会

フォーラムの開催主旨および目標についての概要（20分）

ブレイン・T・グレイ カナダ環境省科学技術局副大臣補佐

参加者に対する歓迎、及び目標と期待される成果についての概略

注：フォーラムの焦点および各セッションの目標に対する参加者の理解を明確なものとするため、議事はテーマにそって2つのセッションに分けられる。

（午前の議題：独自の環境技術の実証及び報告の重要性について）

### 08:50 独自の環境技術実証及び報告の重要性について：第1回環境技術実証に関する国際フォーラムの成果について（プレゼンテーション20分、質疑応答10分）

ジョージ・グレイ 米国環境保護庁副長官（予定）

この議題の主旨は、ワシントンで開催された2005年7月のフォーラムの主要な論点及び結論の紹介。

### 09:20 独自の技術実証及び報告の役割と利益に関する国際討論

プレゼンテーションに続き討論会（70分）

環境性能実証プログラム（EPV）等のプログラムの開発を模索している国又は地域の展望に関する討論。各国の講演者は、環境技術実証の役割と利益に焦点を当てて議論することが求められる。欧州連合、インド、バングラディシュ、東南アジア、中米等の国および地域からの講演者が予定されている。セッションは、持続可能な技術の評価についての国連環境計画のプレゼンテーションから始められる。

司会者：ロビン・マトラバーズ 国連環境計画北米事務局次長

### 10:30 休憩

### 10:45 環境技術実証の統合にむけた取り組みの現状について専門家による討論会

プレゼンテーションに続き討論会（70分）

この討論会では、すでに環境技術実証プログラム（ETV）や環境性能実証プログラム（EPV）を実施している国の代表者により、独自の性能実証の重要性、また、独自の性能実証のより広範囲の統合にむけた実際の取り組みについて意見が交わされる。講演予定者は、中国、日本、韓国、シンガポール、米国、カナダ等の代表者。

司会者：エドワード・マレット 環境技術向上オンタリオ・センター社長兼 CEO

## 12:00 昼食

（午後の議題：国際共働のための行動計画）

## 13:00 行動の必要性について（15分）

司会者：ジョン・H・ニーツ ETV カナダ

午後のセッションの趣旨は、実証プロセスの重要な要素についての意見交換、および国際共働の機会の認識である。4つの主要テーマについて各45分のワーキングセッションが開かれる。それぞれの成果は報告者により記録され、要約として全体の「アクションプラン」の中に含まれる。

## 13:15 利害関係者の参画と標準化を通じた効率的性能指標の明確化（45分）

利害関係者の参画と標準化を通じて性能指標が開発され合意されることにより、実証プロセスがより市場の現実に見合ったものとなる。

キー・クエスチョン：性能実証に使われる指標が有意義であるようにするためには、利害関係者はどのようにかわればよいか？

報告者：アンドリュー・トレンホルム RTI インターナショナル大気汚染防止実証技術センター所長

## 14:00 環境性能情報の報告書の統一にむけて（45分）

技術提供者であるメーカーや、ユーザーが意思決定に用いることのできる正確で信頼性のある情報を提供するためには、報告書の透明性は不可欠である。

キー・クエスチョン：すべての環境性能に関する宣伝や報告書に含まれるべきもっとも重要な情報とは何か？ 環境性能報告に対する共通のアプローチや指標にむけた取り組みは有益か？

報告者：イアン・クラーク 欧州委員会環境総局研究、科学、開発ユニット長

**14:45 実証プロトコルおよび試験方法の開発と共有化（４５分）**

適切な試験方法やプロトコルの開発や共有化を促進するために、多くのことがなされる余地がある。

キー・クエスチョン：適切な試験方法及びプロトコルを開発し共有するためにもっとも有効な方法は？ 具体的な試験計画及びプロトコルが必要とされる優先分野は何か？

報告者：スチュワート・フォーブズ アドバイザー、インド工業連合会 CIDA プロジェクト

**15:30 休憩**

**15:45 試験機関、実証機関の資格付与及び認可（４５分）**

国の適合性評価・認定機関は、E T V／E P Vプログラム及びそれに関連する補助的活動の効果的運営に重要な役割を果たす。

キー・クエスチョン：既存の認証・認定機関の実証プログラムへの最善の関与の方法は？ 国際的な共働と統一化の強化のために適合性評価プロセスがどのように用いられるか？

報告者：レイモンド・クリシウス カナダ環境省インセンティブプログラム統括官

**16:30 管轄区間及びプログラム間の相互利益の機会についての要約－「行動宣言」（４５分）**

最後の議題は、国際的な共働の「アクションプラン」に含められる、参加各国及び各団体のアクションアイテムと関与について焦点が当てられる。今までの４つのセッションの概要報告が行われる。

キー・クエスチョン：利害関係者の異なるニーズや市場の実情を考慮に入れた互惠関係を国内及び各国間で促進（奨励）するためには？

**17:15 閉会（１５分）**